

どんぐり工房だより

〒284-0005 四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3 階 TEL&FAX043-421-6645

E-mail : kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp HP : <http://kibou-donguri.org>

リフォームしました

和室の 2 部屋をフローリングに改修致しました。
広々となったお部屋で、手工芸作業の他、ご自由にお過ごしになって下さい。

☆☆☆プログラム変更・中止のお知らせ☆☆☆

- 書道→従来 第 2・4 木曜日 13 時～14 時
変更後 第 2・4 木曜日 10 時～11 時

※時間の変更にご注意下さい。

- 音楽→当面の間、コロナの状況により中止
- 茶道→同上
再開する際には、お知らせいたします。

～～大淵さん 施設長お疲れ様でした。～～
7 月末日をもって、大淵施設長が引退されました。
今までありがとうございました。今後は、事務局長として、お世話になります。よろしくお願い致します。

どんぐり歌壇

小林 修

おじいちゃんが
煎餅を焼くその姿
母が手真似で再現をする

忘れていた
歌が突然よみがえり
母の引き出しまだ奥深い

まずは自助で
事に当たれと言われるが
自ら助け求めるのも自助

頑張っている事・楽しい事
思っている事等々…利用者の声

最近あまりどんぐりに
来なくなってしまった
のですが、みんなと仲
良くやって行けるよう
に頑張ります。(K・M)

毎日呆れかえるくらい
パソコンに向かってま
す。ホームページを見
たり楽しみ～です。(T)

学校に提出するレ
ポートやテスト対策
の勉強などを頑張っ
ています。(ひよこ)

初めて教えてもらい
ながらミシンで色々
自分のものを作るの
を頑張りました。お昼
をみんなで食べるの
が楽しいです。(YUI)

食事がおいしい。たまに、パン
も出るので嬉しい。(原口 勉)

社会に出るために料理作り
を手伝っています。毎日美味
しい料理を食べられて嬉し
いです。(JE1)

どんぐり工房が続きます
ように…(M)

どんぐりに来ておいしいお昼ご飯を食べ
れて幸せです。なるべく休まず来るよう
に頑張っています。(N)

どんぐり工房では、シール貼りの
作業を頑張っています。毎日少しず
つの作業ですが、これからも根気
強く長く続けられるようにしてい
きたいです。(T・O)

紙細工 (あんぱんち)

手工芸は細かい作業ですが
楽しいです。出来上がった
時は嬉しいです。(心)

M・T さんとお話出来て嬉しいで
す。(チャコです)

私はどんぐり工房で主に手工芸や昼
食作りをしています。手工芸では、帽
子やマスクを作っています。最初は、
難しいけれども、完成した時の達成感
は、次の作品を作る活力になります。
昼食作りでは、餃子や春巻きなど皆で
作るご飯作りが楽しいです。今は、新
型コロナウイルスの影響で開催され
なかった、そうめん流しやいちご狩り
ですが、来年には、参加できることを
楽しみにしています。(M・S)

手芸をし
ています。
目をそろ
えるのが
大変です。
(N・O)

自分自身のペースでおかし作りやねこちぐら、み
んなと楽しく会話ができてとても快適で過ごし
やすく、少しずつだけど職員さんに相談にのって
もらい、毎日が楽しくなってきました。(A・H)

どんぐり工房に行くことで、家から離れひきこもりから脱
出した。けれども、体力がないので毎日通所するのが大変。
そして、規則正しい生活をしている。職員さんが皆やさし
い。台風や雨がこないといいな。(木木)

どんぐり工房の最大の利点は、人と薄い、つながり
を持てることです。ストレスも少なく、心地良い
です。あと数ヶ月、半年？1年？くらいお世話にな
ろうと考えています。とはいえ、暇で暇で仕方ない
のでさっさと社会復帰したいです。まあ、時間が沢
山あるので、今のうちに、やれるだで、勉強してお
こうと思っています。曹

昼休みに皆でマージャンを楽しんでいます。初めての人も
少しずつ出来る様になりました。新しい参加者を募集中
です。いっしょにいかがですか？(H・Y)

どんぐり工房の活動で一番印象に残っているのは、
お菓子部屋での活動です。売り物として作る以上い
つも同じ仕上がりを保つ事の大切さは活動場所と
内容が変わっても役立っています。(byみや爺)

人はどう長生きするか？ではなく今をどう生き
るのか？

最近私はこの言葉に共感しています。今、充実し
ていて楽しいです。もちろん楽しいだけではあ
りません。今を自分なりに一生懸命生きてます。
(雪裡梅花只一枝)

この夢のこゝろ

「K」です

ナイフは「N」じゃありません

(おーくま)

夕暮れな ミドリムシ食べ 健康に

(おーくま)

清々と 百合とりんご

かべわしい (心)

どんぐりで 花のマスクを 作る日々 (心)

選挙では 世の中にも 変わらない

(おーくま)

「障害を 乗り越えて」とか 違うから

(おーくま)

ひとことを 惜しみながら 語る人 (丁)

マルクスは 労働者しか 見ていない

(おーくま)

天の川 渡ってみたら 溺れそう

(牽牛)

地元の人 九三回

(地元の人:A アナウンス:B)

B「それは医学向けの学術誌でした、普段の私でしたらすり抜けてしまうところですよ、私の知るところではない、縦にしようが横に向けたところで理解知れぬものです、雑誌の中に次のような報告が示されている、痴呆と徘徊、その題名に気をとられたのです、その時の私には意外なほど身近にある症例だったので、落ち着くことが無い、普段からそわそわしている、考えている様子もあるが宙の一点を見つめているようにも見える、夜になると外を歩き回る、歩く道順はいつも同様ではない、ふらふら歩きまわるとの事です、自覚しているかどうか分からない、話す言葉は一定しない、話す内容すら理解できなかったそうです、そして分からぬことをつぶやき続ける、ここまで読み、居場所を探すことは私でも分かる、自分のいる居間でさえ落ち着けない時も多い、適当にその場を切り上げ自室に戻ることもある、親のすむ家の中でそのような時がある、私の家ではないから落ち着けないことは当たり前かもしれないが自室でも気軽にできるわけでもなかった、自然気持ちは家から遠ざかる、借間を何処かで探さなければならぬ、だから気持ちは理解できぬものではない、ただ居場所を探すように徘徊することはないが、自覚があるかどうかは私から外れる

ことはいけれど本屋街を歩き回ることさえ似ているようにも思えてくる、病気ではないと言えるほどの自信を持つことはできませんでした、では私を述べられるか、それこそ疑問である、会社を辞めてぼんやりする時間が長い、意味の喪失かも知れぬ、私は社会からすり落ちているように思えてくる、働くから大きな意義があるのかも思えないけれど働いていた時私は私を考える事すらできなかった、私は心理をふりほどかねばならない、けれど次の職を探すことも必要である、ふた月は休むつもりでいたけれど事情は異なっていました、早くしろ、そう言われているようでした、落ち着けない、居場所が無い、居場所を探すように本屋街をふらつきました、無職の私には歩くことも許されたようでもない、一時間はかり歩いて疲れが出たところで喫茶店に入りました、学生の頃よく喫茶店に入り本を読んでいた、そのころを懐かしく思えるのではない、社会から外れてしまったように思われるのです、では痴呆とは…私にはぼんやり考えた、今の私ではないか、自覚はある、あるけれど…本屋の棚の前で次の記述に愕然としました、その患者に化粧道具を渡したところ誰に会うわけでもないのに丹念に化粧をしたと書いてある、働いて辞めた後最後まで残った私の思念と同質だったので」 (丁)

どんぐり工房令和2年10月予定表

・利用時間は、月曜日～金曜日(日・祝日を除く)9:30～15:00迄です。

※特記なければ、通常作業あります。

・利用時間内、様々なプログラムを用意しています。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
※通常作業 菓子・パン作り 刺繍 シール貼等					農園(午前中)	お休み
4	5	6	7	8	9	10
お休み		※市役所内 販売		書道 (10:00～11:00)	農園(午前中)	お休み
11	12	13	14	15	16	17
お休み					農園(午前中)	お休み
18	19	20	21	22	23	24
お休み		※市役所内 販売		書道 (10:00～11:00)	農園(午前中)	お休み
25	26	27	28	29	30	31
お休み						お休み

※調理実習はほぼ毎日あります

MEMO